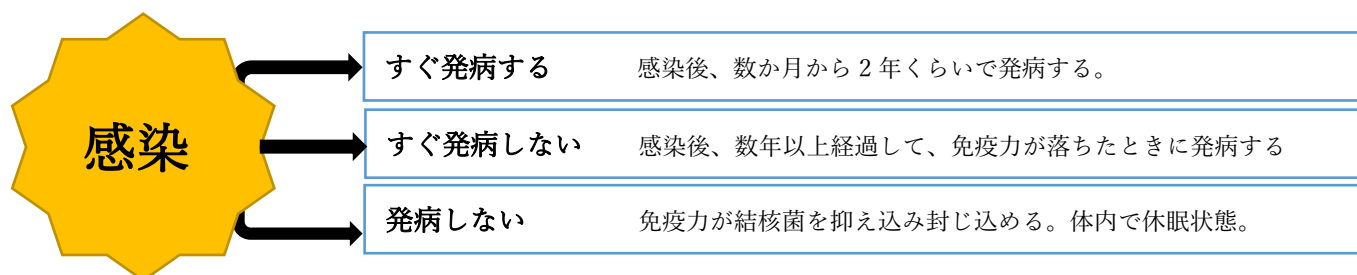


日本に住む外国生まれの方々が健康で過ごせるように ～職場・学校関係者のみなさまにも知ってほしい結核のこと～

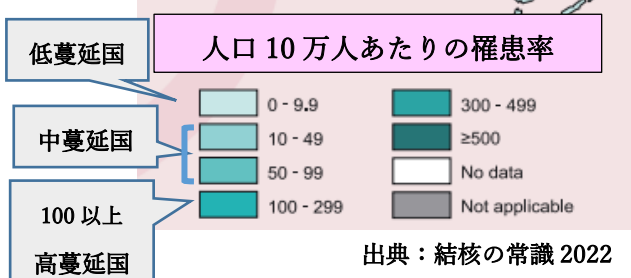
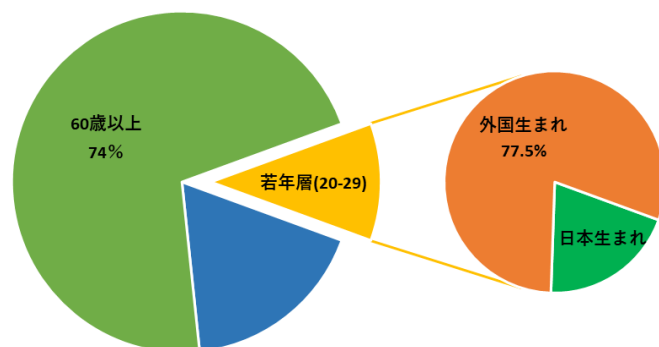
近年の全国的な傾向として、高齢者と外国生まれの若年者の結核の増加が課題になっています。結核は、排菌している患者の咳やくしゃみによって結核菌が空気中に飛び散り、それを直接吸い込むことによって他の人に感染します(空気感染)。ただし、結核菌に感染しても体に十分な免疫力があれば菌の活動が抑えられて休眠状態になり、発病には至りません。

感染と発病は違います！



◎新規結核患者は、**高齢者**に多くおよそ**74%**は**60歳以上**の方です。

◎特に**若年の外国生まれ**の患者の割合が増加しており、若年層(20-29歳)の新規患者のおよそ**77.5%**を占めています。



出典：結核の常識 2022

日本は2021年に、結核の罹患率(人口10万人対)が「9.2」と10を下回り**低蔓延国**になりました。しかし、周辺のアジアの国々は結核が流行している**中蔓延国・高蔓延国**が多くあります。そのため、既に母国で感染した状態で入国される方も多く、入国後の健康管理が非常に重要になります。

結核の症状

結核の症状には、長引く咳、痰、微熱、体のだるさなど特徴的なものがなく初期には目立たないことが多いため気づかないうちに進行してしまうことがあります。

◎咳や痰、発熱など、風邪のような症状が2週間以上続くとき

◎仕事を続けて休んだり、元気がない、顔色が悪い、痩せてきたとき

上記のようなときは、早めに医療機関の受診を勧めましょう！！

体重減少



食欲不振



倦怠感



咳や痰



胸の痛み



外国生まれの方々は以下の理由より、発病のリスクが高まります！

免疫力が下がりやすい

- ・勉強と労働の両立による不規則な生活や睡眠不足
- ・異国で生活することのストレスや疲労
- ・食文化の違いによるストレス

受診が遅れやすい

- ・体調不良を周りに訴えることが難しい
- ・漢字で書かれた案内書などを読めず、異常があっても精密検査につながらない
- ・金銭的負担等により受診や受診継続のハードルが高い

結核を**発病**させないために・・・！



年に1回は胸部レントゲンで結核の発病がないことを確認しましょう！

不規則な生活や**受診の遅れ**がないか、こまめに声掛けをして、

みんなで健康を守りましょう！